



## ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

### 1. 平成24年度関東地方整備局関係予算の概要について。

平成24年度国土交通省関係予算のうち、関東地方整備局関係の配分概要をお知らせします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku\\_00000539.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku_00000539.html)

### 2. 地上デジタル放送（データ放送）による河川情報の提供開始について

近年、梅雨期の前線に伴う集中豪雨や台風により、全国各地で激甚な水害等が数多く発生しております。これらの災害から、人的被害を減らすためには、迅速かつ的確な避難判断や避難行動が重要であり、的確な情報提供が必要となります。

国土交通省では、従来から河川の雨量や水位の情報を、「川の防災情報」としてインターネットや携帯電話を活用した河川情報の提供を行っております。

今回は、より身近に河川の情報入手し、適切な避難行動に役立てていただくために、放送局向けの情報配信システムの整備を行い、放送局、都県等と協力して、関東地方管内の代表する河川において、地上デジタルテレビのデータ放送による河川情報の提供を行うことになりました。

平成24年4月1日、4月2日から下記のとおり、首都圏においてデータ放送が開始されることとなったため、お知らせいたします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku\\_00000534.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku_00000534.html)

### 3. 平成24年度工事事故「重点的安全対策」

関東地方整備局では、平成13年度より「重点的安全対策」を定め、工事事故の防止に努めているところで

す。関東地方整備局における平成23年度(2月末日現在)の工事事故は、66件発生しており、前年度同日付け(77件)と比較して減少しているものの、今年度も死亡事故が発生するなど極めて憂慮すべき状況となっております。

工事事故の主な発生形態としては、公衆損害事故が工事事故全体の約80パーセントを占めるなど多く発生しており、昨年度の公衆損害事故の件数をすでに上回っており、それらへの対策強化を始めとした安全対策のより一層の向上が求められます。

このような状況を踏まえ、工事安全対策のより一層の徹底を図るため、別添のとおり「平成24年度重点的安全対策」を定め、管内関係事務所に通知すると共に、関係業団体に会員各社への周知を依頼し、工事安全対策の向上に努めることとしましたのでお知らせします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku\\_00000528.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku_00000528.html)

## ◆◆国土交通本省の動き◆◆

### 1. 「持続可能なまちづくり研究会」の提言のとりまとめについて

高齢化・人口減少の進行する状況の中、地方都市を含めた持続可能で活力あるまちづくりが重要な課題であり、省エネ・環境重視型の都市へと変換を促すための低炭素まちづくりを進めていくことが必要です。このため国土交通省では、今後の持続可能なまちづくりの方向性及び具体的手法について検討を行うことを目的として、清水雅彦慶應義塾大学常任理事を座長とする「持続可能なまちづくり研究会」を設置し、検討を進めてきたところです。

今般、提言がとりまとめられました公表内容をお知らせします。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/house06\\_hh\\_000089.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/house06_hh_000089.html)

### 2. 震災復興官民連携支援事業にかかる案件募集について

東日本大震災からの復興に当たっては、公的主体自らの取り組みはもとより、民間の資金、経営能力、技術的能力を最大限活用するための仕組みを導入することが有効であると考えられます。

このため、震災復興に係る官民連携事業を実施しようとする地方公共団体等に対し、官民連携事業導入の検討に要する調査委託費を助成するにあたり、以下の支援事業として案件の募集を行います。

○震災復興官民連携支援事業 【募集期間 平成24年4月20日～5月25日】

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21\\_hh\\_000002.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21_hh_000002.html)

### 3. 「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」の実施について

国土交通省では、中小・中堅建設企業の新事業展開、企業再編、転業、廃業等の経営戦略の実現を支援する「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」を平成23年度に引き続き実施しますのでお知らせします。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14\\_hh\\_000277.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000277.html)

◆◆地域の動き◆◆

関東管内直轄国道における ITS スポットサービスの提供開始について

関東地方整備局 道路部 交通対策課

国土交通省関東地方整備局は、長野県内の国道19号及び山梨県内の国道20号で、ITSスポットサービスの提供を平成24年3月30日より開始しました。

○関東地方整備局管内でのサービス開始区間

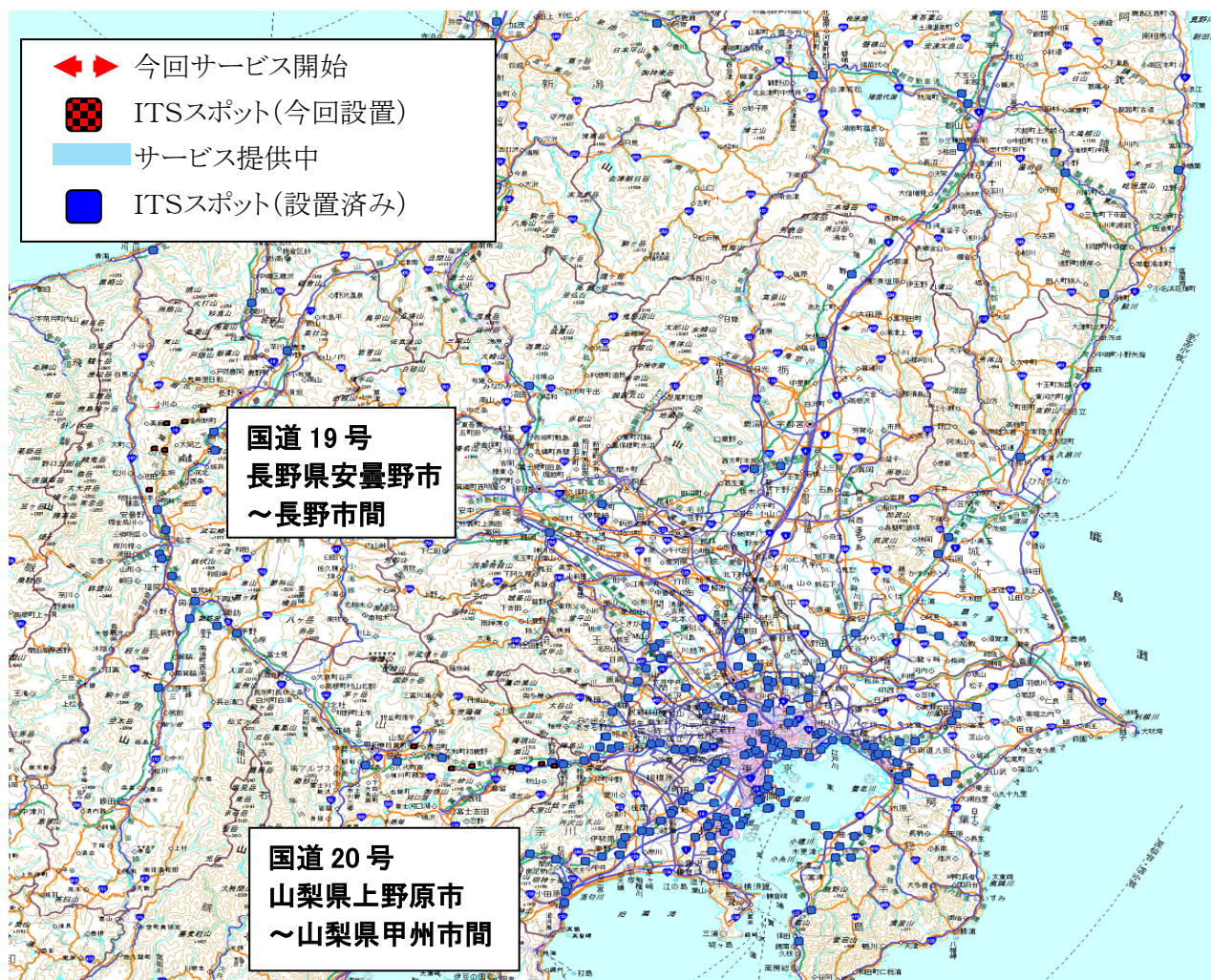
国道19号 長野県安曇野市から長野市間

国道20号 山梨県上野原市から山梨県甲州市

なお、中部地方整備局管内（静岡県、三重県）でも同時にサービス開始。

1. 今回サービスを開始する区間

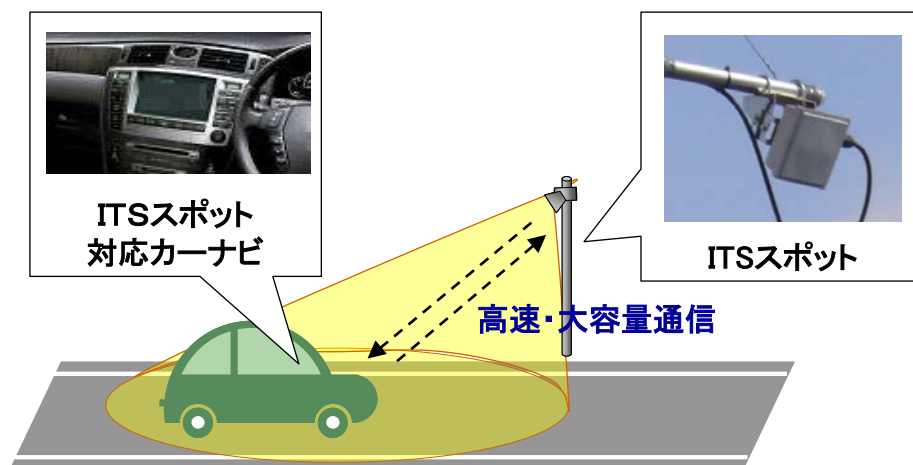
関東地域では既にサービスを開始している高速道路上の約430基のITSスポットに加え、一般道上に新たに12基設置し、サービスを開始。



関東地域周辺のサービス提供範囲

## 2. ITSスポットとは

道路上に設置した「ITSスポット」と自動車に搭載された「対応カーナビ」との間で高速・大容量通信を行い、広域な道路交通情報や音声、画像などが提供されるとともに、自動車からも情報通信を実現します。



## 3. 一般道でのサービスの内容

<3つのサービス>

### 【規制情報及び迂回路情報を提供】

一般道の規制区間周辺の道路情報のほか、並行する高速道路の情報も提供。

### 【気象・災害情報】

通行規制に関する雨量情報、災害情報や、冬期の路面状態を簡易図形や静止画・音声情報で提供。

### 【工事規制情報】

路上工事または規制を伴う作業等の情報を簡易図形・音声情報で提供。

### その他のサービス

一部の機種で、サービスエリアや道の駅に設置したITSスポットから提供する地域観光情報等の取得が可能。

このほか、決済・物流などのサービスも今後展開する予定です。

## 4. 一般道ITSスポットでの提供サービスイメージ

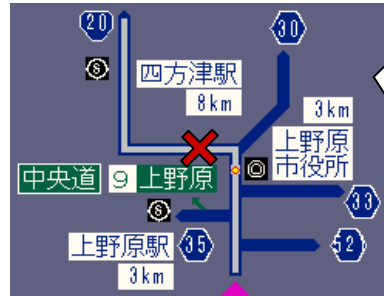


### 通行規制区間とは？

大雨や台風などにより降り始めからの降雨量が基準値を超えた場合、『通行止め』などの通行規制を行う区間。

過去の記録などをもとに通行規制基準を定めており、災害が発生する前に、この基準により「通行止め」などの『事前通行規制』を行い、道路を利用する方々の安全を確保します。

### 通行規制情報及び迂回路情報の提供



この先、上野原市四方津から大月市梁川町までの間、雨のため通行止めです。

### 気象・災害情報



この先、路面凍結に注意してください。



この先、国道20号甲府方面27キロ先の現在の気象状況です。

※静止画像の提供は山梨県内 国道20号のみ。

### 工事規制情報

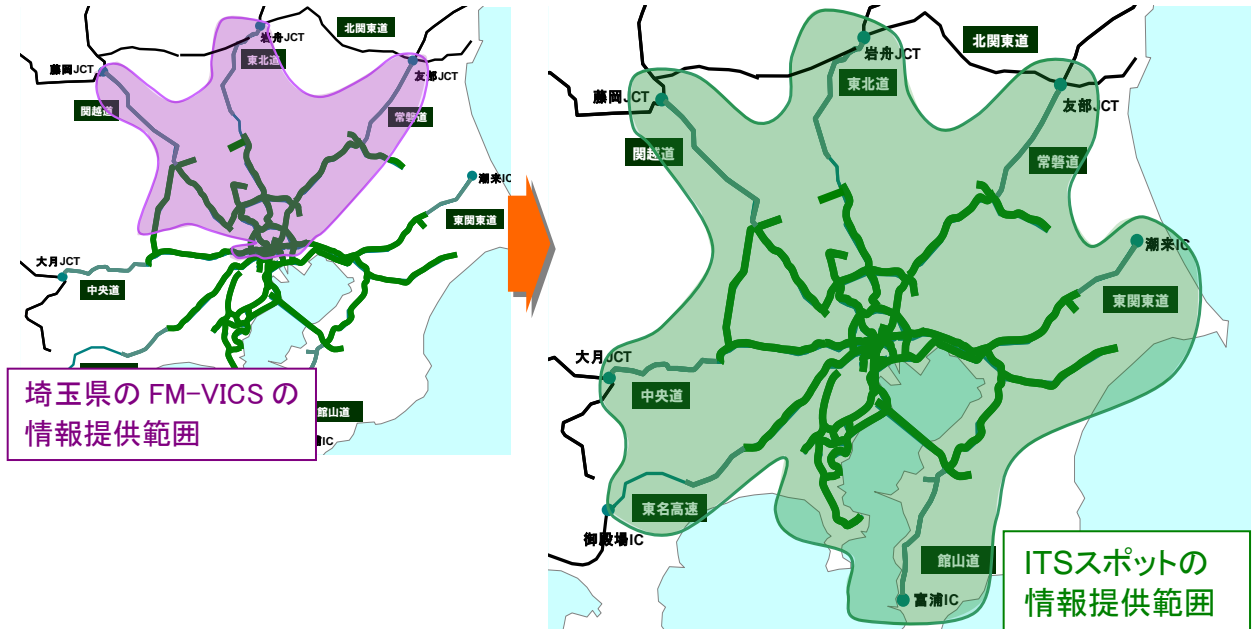


この先、工事により車線規制中です。注意して走行して下さい。

## 【参考】高速道路上での提供サービス

### (1) ダイナミックルートガイダンス

首都圏内では、首都圏全体の情報を送信することで、多数のルートの中から都心の渋滞を避けるルートが選択でき、道路ネットワーク全体の有効な活用が可能になります。(これまでの FM-VICS では都県単位でしか配信されませんでした。)



広域な道路交通情報の提供イメージ【首都圏：埼玉県内の事例】

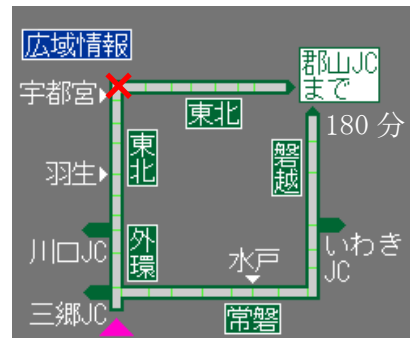
大都市間移動の場合、経路選択が可能なジャンクション手前で、ITSスポットから広域な道路交通情報(目的地までの所要時間、通行止めや渋滞等)を提供します。

#### 【目的地までの広域情報を受信】



都市間移動の例(東京～福島)

#### 【簡易図形・音声を提供】



郡山方面の広域情報です。  
通行止めの情報です。  
事故により午前8時20分頃より、およそ150キロ先の東北道宇都宮インターから矢板インターの区間で、通行止めとなっています。  
郡山ジャンクションまで、常磐道および磐越道経由で180分ほどかかっています。

## (2) 安全運転支援

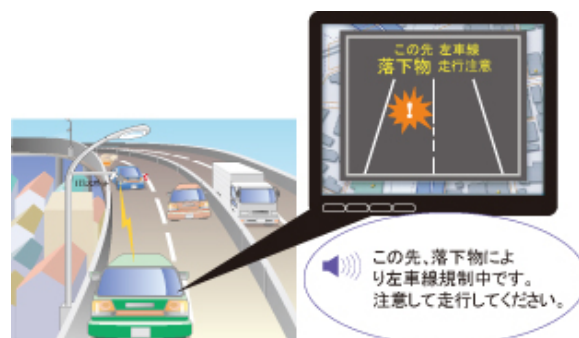
通常時は広域な道路交通情報を提供するITSスポットで、各道路の交通安全上の課題に合わせて、緊急時に安全運転支援情報を提供します。

事故多発地点ではカーブ先などの  
見えない渋滞を注意喚起



急カーブ手前の注意喚起のイメージ

道路上の落下物などを注意喚起



落下物注意喚起のイメージ

## (3) ETC

ITSスポットは、ETCと同じ通信技術を活用しており、対応カーナビを用いることで従来のETCのサービスも受けることができます。

## (4) その他のサービス

一部機種では、サービスエリアや道の駅などにおいてカーナビからインターネット接続により、地域観光情報の取得が可能です。